

教 科： 総合的な探究の時間 科 目： CC2 1 単 位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者： 国語：田島 英語：関根 地歴公民：串岡・渡邊 体育：関口 福祉：天野 看護：飯嶋 情報：稲葉
食物：高田 保育：飯田 被服：大橋 音楽：小松 美術工芸：鈴木 数学：池田 理科：小島 工業：田熊

教科	総合的な探求の時間	の目標：
【知識及び技能】	自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する	
【思考力、判断力、表現力等】	学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる	
【学びに向かう力、人間性等】	自己の在り方生き方を考えることができるようにする	

科目	CC2	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程を通じて、生徒が探究の意義や価値そのものを理解することを目指す。	課題設定、情報の収集・整理・分析を経てまとめ・表現を行う。	新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	ガイダンス	「CC2ワークシート」を配布し、年間の授業計画と学習内容、指導方針などを理解させる。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○	1
	「ブレ調査研究実施計画書」作成	2年次で行う「ブレ調査研究」「修学旅行調査研究」から3年次の「課題研究」を見通したテーマをじっくりと検討させ、目的意識を持って学習に取り組ませるよう指導する。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○	8
	「オープンキャンパス参加計画書」作成	年次と連携し、実力テストの振り返り学習を踏まえて指導することで、大学進学へのモチベーションをあげる。大学のほかに追加して専門学校にも見学に行く場合は、参加する前に必ず教科担当の先生に相談させ、より良い学校選びにつなげる。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○	2
	「ブレ調査研究実施計画書」提出ならびに実施計画の確認	提出期限までに計画的にものごとを進めるよう取り組ませる。実施計画に無理・無駄がないか確認し、的確なアドバイスをすることで、ブレ調査研究に向けてのモチベーションをあげる。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○	2
2 学 期	「ブレ調査研究共通報告書(下書き)」提出	提出物を期限厳守で提出させる。自分が取り組んだ調査研究を他者にわかりやすく伝えることで、プレゼンテーション力の向上を目指す。調査研究内容を共有し、課題研究や進路選択につなげられるよう指導・助言する。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○	8
	科目登録本調査	進路希望を明確にした上で科目登録できるように指導・助言する。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○	2
3 学 期	「ブレ調査研究」作成 「ブレ調査研究」プレゼン準備	各メンバーごとに調査研究の進捗状況を把握しながら、個別指導により、研究の実証検討、精査を行う。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○	4
	(学習成果発表会) 「ブレ調査研究論文」提出 ブレ調査研究系列内プレゼン（1教科の発表時間は5分を予定）	学習成果発表会で研究報告書の展示、プレゼンテーションを行い、達成感が味わえるようにていねいに指導する。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○	8 合 計 35